

私たちの西地域

《発行》
西地区
区長会

手賀野 (手賀野上区, 第1区, 第2区, 会所ヶ丘区)

駒場 (第3区, 後田区, 松源寺区, 大峡区, 共栄区, 第4区, 第5区, 西ヶ丘区, 大平区, 山手区, 桃山区, 第6区, 第23区)

振り返れば未来 まちの記録は私たちの財産です！

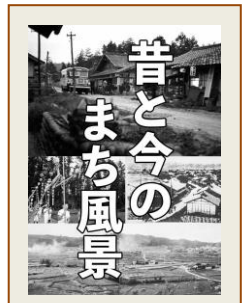
～ 皆さんにご協力いただいた「昔と今のまち風景」の取り組みはこれからも続きます ～



現在の様子 (御菓子司「松葉」付近: 山並みから判断してほぼ近い位置から撮影しました)

昭和22年の旧国道19号の道普請(駒場から中津川へ: 正面は恵那山)

令和3年秋に西地区の皆さんからお寄せいただいた昔の風景写真や中津川市の画像(デジタルアーカイブ)の一部です。まちづくりの取組みの一つとして、各地区での写真展やサロンだけでなく、新たに開設する中津西地区[ホームページ](#)の「写真館」でも、まちの魅力をご覧ください。(*募集も続きます)



駒場青木交差点付近から後田方面



木造校舎の西小学校



旧中津川駅の変遷(上下)



大峡橋(R257 青木交差点)



旧スポーツセンター(現在はサンライフ)



根の上高原でのスケート風景

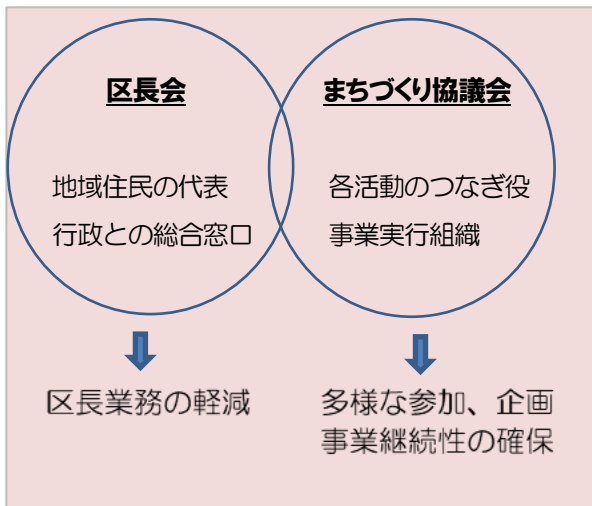
※この広報は市の「地域一括交付金」を活用しています

●中津西地区まちづくり協議会(仮称)の設立に向けて

令和3年12月に設立準備会メンバー、区長会役員、市民協働課で高山市江名子校区まちづくり協議会を訪問し、設立経緯や課題など、江名子地区役員の皆さんや高山市職員と意見交換をしました。多くの質問に丁寧な説明やアドバイスをいただきましたが、各種講座、街道トレッキング、学習会、地域発見事業などイベント(行事)への参加者も多いことから、地域の協力と実行力を感じました。

西地区の設立準備会もコロナ禍で開催が難しい状況ですが、現在は組織の形や部会、規約について協議しています。

◆組織のたたき台



【留意すること】

- 大きな傘のイメージで各団体の活動を支援する
- 区長会と連携しながら企画、実行する力を持つ
- 当分の間、地域一括交付金を活動の財源とする
(住民に負担を求めない)
- 地域住民へのアンケートを検討する

【準備作業】

- 組織体制、規約案の作成
- 事業計画及び予算案を作成
- 設立総会の開催
- 住民への広報
- 市への届出

設立準備会では、新しいまちづくり組織が区長会と連携しながら4つの部会で活動することを基本に、部会ごとの内容や具体的な取り組みを検討しています。そして、視察結果や市内のまちづくり組織も参考にしながら、各部会に区長が入ることを想定しています。

総務部会 (リニア、環境、産業及び他の部会に属さないもの)

- 各部会との調整支援
- ホームページ運営
- 広報発行
- 住民アンケートの実施
- 地域ビジョンのとりまとめ など



住民福祉部会 (福祉全般)

- 社会福祉協議会との連携
- 要支援者対応
- 地域懇談(交流)会等の開催
- 子ども食堂の検討 など

安全安心部会 (防災安全、子供の見守り)

- 届出避難所対応
- 市指定避難所の在り方研究(市との協議)
- 通学路の安全確保
- 子どもの見守り活動 など

文化スポーツ教育部会 (文化、スポーツ、教育)

- ふるさと教育の推進
- 軽スポーツ、ウォーキング
- 歴史、文化の継承 など



高山市江名子小学校第二体育館での意見交換の様子
(事務所も学校内です)



●令和3年度『西地区要望書』に対する市の回答をお伝えします (西地区広報第7号参照)

市政懇談会に代わる市長へ要望について、市から回答がありました。主な事項は以下のとおりです。

※回答書の写しは、各区長が持っています。紙面の都合上、区長会で回答を要約していますので、ご承知おきください。

《要望項目》

活動拠点の整備 人的支援の拡充

◆西交流センター（仮称）の整備は、現在のところ予定していません。サンライフ分館内の西まちづくり事務所を拠点にしながら、まちづくり活動を進めていただくようお願いいたします。市では既存施設の計画的な更新や統廃合、地域移譲・民間譲を進めており、手賀野公会堂の整備は計画していません。地域担当職員の配置は困難なので集落支援員制度をご利用ください。（西地区1名）

地域一括交付金見直し

◆令和2年度から人口割を取り入れて配分しています。今後の配分を見直す際には、各地域の活動内容等を検証の上、方法を検討いたします。環境整備等に取り組みの際には、『協働の生活環境』分がありますのでご相談ください。地域一括交付金への集約を含め検討が必要であると認識していますが、地域での事務量増加や現在の活用団体に不利益が生じないよう慎重な検討が必要と考えます。

リニア関連工事での地域住民の安全確保や情報提供

◆工事調整会議の下部組織として「運行ルート部会」を設置し、工事車両の運行台数管理、一時的な運行ルートの変更や台数の調整を図るなど、地域への影響を極力軽減するよう努めています。

東濃東部都市間道路（桃山工区）の具体的計画提示

◆現在、リニア岐阜県駅を中心とした区間の道路整備を進めているため、桃山工区の事業スケジュールをお示しすることはできませんが、少しでも早く事業化できるよう、取り組んでまいります。

前川河川改修、後田川、京田用水等の浚渫（しゅんせつ）及び面的な治水対策

◆今後も恵那土木事務所への要望を行います。市内全域の排水路の断面を大きくするなどの対策は困難であるため、緊急を要する場所等は補修等の対策を行っていきます。排水路のバイパス化等を検討しますが、事業実施には用地提供や長期間の交通規制等、地域全体の協力をお願いします。薬師橋の架け替えを事業化する場合には、地域で工事期間中の通行止め等への協力をお願いします。

青木斧戸線に取り付けられる市道の道路幅拡張、周辺地域のまちづくりの考え方

◆本線完成後の交通状況を見ながら検討していきます。交差点の幅等に伴う用地買収等は地域の協力が必要となりますのでよろしくご願ひいたします。中津川市立地適正化計画では、居住誘導区域に位置づけており、活力のあるまちづくりの誘導を図り、地域の発展に繋げていきたいと考えています。

通学路の安全確保

◆毎年各小学校から提出された危険箇所の合同点検を実施し対策を講じています。地域の皆様から危険と思われる箇所がありましたら情報提供をお願いします。

西小学校を優先避難所に指定し、地域集会所も「届出避難所」とする制度を導入

◆市職員対応は現在の17か所を開設するのが限界な状況です。中津西地区全体の総意として、地区内で開設する避難所の変更や統合を希望する場合は、防災安全課へご相談ください。届出避難所制度は検討しており、開設に係る補助や規模、安全な集会所の数等も考慮していきます。

最終処分場が能力の50%に達しつつあるため市が抜本的なゴミ減量を主導

◆ゴミ減量の啓発活動の推進とゴミ減量につながる施策や3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組みを積極的に展開します。新たなゴミ処理施設の整備については、近隣市との広域整備も視野に入れて協議を行っている状況です。

通学路への公衆用トイレの設置

◆市において、トイレの設置についての計画はありません。

●中津西地区のホームページをつくりましたので、パソコンやスマホでご覧ください！

まちづくり協議会がまだ設立準備の段階なので、西地区区長会が発行している広報、防災やリニアのリーフレット、地域学習冊子「私たちの西ちいき」のほか、ドローン撮影映像、昔の写真などをのせています。中京学院大学生ボランティアにも協力いただきました。



西まち協について 西まち協だより 西まちづくり事務所 地域学習資料 リニア 映像ライブラリー

防災・環境 域学連携情報 西まち協の動き お問い合わせ



<https://nishi-machikyo.com>

●中山道沿道景観区域「上宿一里塚」が第3区の皆さんの協力できれいになりました

中山道の良好な景観を維持促進するため、中津川市景観づくり支援補助金事業があります。地域での景観に関する活動に対して支援されるこの制度を活用して、地元の皆さんが木製花壇とベンチを整備しました。穴掘りや防腐剤塗布、植栽のほか、大きくなった木の剪定（せんてい）作業も行われたことで、とても良い景観になりました。区内の方から立派な葉牡丹の寄付もあり、中山道を歩く人たちを楽しませてくれています。



地域の皆さんによる花壇の準備と木製ベンチの設置作業



新しいベンチと花壇 高木の剪定



●消防団員を募集！ ～地域の安全と安心を守るためあなたにも出来ることがあります～

頑張ってみませんか



私たちと一緒に

「みんなに自慢できること」
「自分に誇りがもてること」
が見つかりました。
大変だけど頑張っています。

☆ あなたの輝ける場所
中津川市消防団 ☆

消防団員は他の本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。



男性 女性 **消防団員募集中**

お問合せ先：中津川市消防本部 消防団係 TEL：0573-66-1194

敵艦のために **中津川市消防団** 頑張れること